

8桁精算表ワークシート②（主体的に学習に取り組む態度）

1年 組 番 氏名 _____

問

あなたの勤務している会社が決算となり、損益計算書・貸借対照表を作成することとなった。

あなたは、経理事務担当として損益計算書・貸借対照表の作成にあたり、確認のために8桁精算表の作成を依頼された。そこで、あなたは8桁精算表を作成する上で（1）どのような点に留意すべきか記入しなさい。

また、（2）その留意点を改善するためにはどのようにするか記入しなさい。

※以前実施したワークシート①を思い出しながら、考察すること。

※決算仕訳はすべて合っていると仮定するため、（決算の仕訳をしっかりと行う等）の解答は×とします。

(1)	
(2)	

評価	A	B	C
状況	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
主体的に学習に取り組む態度	8桁精算表の作成についての留意点に気づき、8桁精算表を適切に作成するために粘り強く取り組もうとしているとともに、留意点等を具体的に指摘し、実務での8桁精算表の作成について改善するための手だてを考察しようとしている。	8桁精算表の作成についての留意点に気づき、8桁精算表を適切に作成するために粘り強く取り組もうとしている。	8桁精算表の作成についての留意点の把握が不十分であり、適切に作成するために粘り強く取り組む態度が見られない。

実施方法・評価について（教員用ページ）

〈実施時期〉

当ワークシートは、「思考・判断・表現」を測る『8桁精算表ワークシート①』の
実施後又は、定期考査時に実施する。

〈実施方法〉

当ワークシートは、事前に行った『ワークシート①』とは別日で行うことが望ましい。
当ワークシートをし、事前に行った『ワークシート①』を見ずに、解答を埋めさせる。
週末課題・授業内・定期考査のどの段階でもできるワークシートとした。
（時間は5分程度）

〈評価の見取り方〉

「主体的に学習に取り組む態度」を測るためには、事前実施した『8桁精算表ワークシート①』を通して、
自らの学習をどの程度調整しようとしているか、粘り強く取り組むことができたかを見取ることとする。

〈具体的な評価について〉

- B評価・・・（1）で適切な解答ができた。
- A評価・・・B評価に加えて、（2）で適切な解答ができた。
- C評価・・・（1）で適切な解答ができない。

（1）の解答例・・・これができればA評価またはB評価

- ・勘定科目がどの要素に分類されるかを理解しなければならない。
- ・資産、負債、純資産は貸借対照表に記入することに注意する。
- ・収益、費用は損益計算書欄に記入することに注意する。
- ・合計を記載するとき、借方欄・貸方欄同士なら足す、借方欄・貸方欄が異なる場合は引く。
など、『ワークシート①』（2）の解答例が記入できていれば良い。

（1）C評価の解答例

- ・決算で行った仕訳は修正記入欄に記入する。
- ・5要素を覚える。
- ・5要素を覚えないと損益計算書、貸借対照表の当期純損益が一致しないことがある。
など、『ワークシート①』（2）の解答例が記入できない。

（2）の解答例・・・（1）の解答に加えて以下の解答ができれば、A評価とする。

- ・勘定科目の5要素の一覧を準備して、貸借対照表、損益計算書欄を間違えないように記入する。
- ・5要素が分からなければ、調べて記入することを心がける。

など、実務での課題解決策を記入していること。

「これからの授業は5要素をしっかりと意識する」等、授業のみの改善点を記入した解答は
今回は、適切ではないと判断する。

その他、「5要素が分からなければ誰かに聞く」「上司に確認をとる」というような
自らの知識や技術を向上させるために自分で解決する手段が記入されていない場合も
適切でないと判断する。